

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01下水道事業費用

項 01営業費用

目 04総務費

事務事業番号 01010411

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
シンクライアント導入事業		6,045 千円	千円	千円	千円	6,045 千円
上下水道部 総務課						
根拠法令						
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象		シンクライアントを導入することで、セキュリティの強化や職員の人事異動時の利便性の向上を図ります。				
事業の必要性		令和2年1月をもって上下水道部サーバOSのサポートが終了するため、新たなサーバの構築が必須です。全庁側で既にシンクライアントを導入していることから、上記の目的のため本事業が必要です。				
事業の内容 SDGs17の目標		各課の独自システムを管理する業務サーバと、通常業務を管理する端末サーバを新たに構築しました。また、上下水道部独自の共有ドライブを設け、複数課で大容量のデータを共有できる仕組みを作りました。				
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	6,045 千円	担当正規職員	70 千円	0.01	人	
人件費	70 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用(フル)	千円		人	
総計	6,115 千円	再任用(ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由		本事業によるPCの廃止によって、全庁側と比べ脆弱だったセキュリティ対策が同レベルに強化されました。また、人事異動や業務運用等についても全庁側との統一を図ることができたことから、有効性、効率性が高いと考えています。				
事業の課題、今後の方向性等		全庁側がシンクライアントを導入してからも約10年間PCを使用し続けていた経緯から、本事業の運用や今後の方向性の決定については、情報推進課との連携や情報共有が最も重要だと考えています。				
特記事項						


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01下水道事業費用

項 01営業費用

目 04総係費 外

事務事業番号 01010412

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳				
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源	
財務会計システム更新事業		3,574 千円	千円	千円	千円	3,574 千円	
上下水道部 総務課							
根拠法令							
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金							
事業の目的・対象		令和元年度に予定されている、シンククライアントシステム移行のため、現在使用している財務会計システムの更新を行います。					
事業の必要性		財務会計システムは、公営企業を運営するために必要なシステムであり、現行のシステムでは、令和元年度に予定されているシンククライアントシステム移行時に使用することができなくなるので必要となります。					
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>現行の財務会計システムは、シンククライアントシステムでは使用することができないため、移行時に使用することができるように財務会計システムの更新を行いました。</p>					
コスト		人件費					
		職員構成		概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	3,574 千円	担当正規職員	70 千円	0.01	人		
		嘱託職員	千円		人		
人件費	70 千円	再任用 (フル)	千円		人		
		再任用 (ハーフ)	千円		人		
総計	3,644 千円	任期付職員	千円		人		
		臨時職員	千円		人		
評価指標 (事業実績)		指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度	
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
		事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由		本事業により、シンククライアントシステム上でも円滑に財務会計システムを運用できるようになったため、事業の有効性は高いと考えます。また、当システムは公営企業を運営する上で不可欠であるため、費用に見合った効果も得られていると考えます。					
事業の課題、今後の方向性等		新しい財務会計システムをより効率的に活用できるよう、課内での情報共有を積極的に図っていきたいと考えています。					
特記事項							

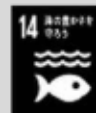
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01下水道築造費

事務事業番号 01010113

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
管渠築造事業		1,394,349 千円	330,435 千円	881,979 千円	9,140 千円	172,795 千円
上下水道部 下水道計画課						
根拠法令		下水道法、下水道施行令、苫小牧市下水道条例				
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金				
事業の目的・対象		安全・安心で快適な市民生活を実現し、下水道機能を持続的に確保するため、汚水管（未普及対策）や雨水管（大雨対策）を整備するとともに、老朽化が進む下水道管の改築更新（老朽化対策）を実施します。				
事業の必要性		下水道は、市民生活に欠かせないライフラインであり、快適な市民生活を実現するための汚水管整備や、近年の集中豪雨による浸水被害を軽減するための雨水管整備、老朽化が進む管渠を計画的に改築更新する老朽化対策を進める必要があります。				
事業の内容 SDGs17の目標      		<p>【下水道管新設工事】</p> <p>1 汚水管整備について 東開町の下水道未整備箇所において、汚水管を整備しました。</p>  <p>2 雨水管整備について 近年の集中豪雨による浸水被害を軽減するため、澄川町などで雨水管を整備し、勇払地区でマンホール内ポンプやバイパス管を設置するなど大雨対策を実施しました。</p>  <p>3 老朽化対策について 管渠の流下機能を維持するため、管路長寿命化計画に基づき、老朽化した管渠の改築更新を日の出町などで実施しました。</p> <p>【下水道管改築工事】</p>				
コスト		人件費				
事業費 (R1年度決算額)	1,394,349 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数		
人件費	千円	担当正規職員	千円	人		
総 計	1,394,349 千円	嘱託職員	千円	人		
		再任用 (フル)	千円	人		
		再任用 (ハーフ)	千円	人		
		任期付職員	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	下水道普及率		%	99.2	99.2	99.1
	雨水面積整備率		%	74.7	74.6	74.4
	改築・更新済延長 (計画対象延長 35.9km)		km	13.2	7.9	4.4
自己評価	事業の有効性 (効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性 (費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	近年の集中豪雨による浸水被害を軽減するための雨水管整備や、下水道未整備箇所への汚水管整備を実施するとともに、老朽化した管渠の改築更新も計画的に進捗していることから、事業の有効性及び効率性は高いと考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	今後の事業経営を考慮しながら雨水管整備などの大雨対策や、老朽化した下水道の改築更新を計画的に実施します。					
特記事項	コスト欄の事業費には、人件費が含まれています。					




事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01下水道築造費

事務事業番号 01010114

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
ポンプ場築造事業		105,404 千円	21,488 千円	83,116 千円	586 千円	214 千円
上下水道部 下水道計画課						
根拠法令	下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	流下する下水を揚水するポンプ場は、下水道の重要な施設であり、その機能を安定的に持続させるため、老朽化が進む設備の部分交換や改築更新を計画的に進めます。					
事業の必要性	下水道は、市民生活に欠かせないライフラインであり、下水道機能を持続的に確保するため、ポンプ場の老朽化対策を計画的に実施する必要があります。					
事業の内容	<p style="text-align: center;">【糸井中継ポンプ場】</p>  <p>老朽化対策について ポンプ場の機能を維持するため、ストックマネジメント計画に基づき、糸井中継ポンプ場の受変電設備や、錦岡中継ポンプ場の機械設備など老朽化した機器の更新を実施しました。</p>  <p style="text-align: center;">【錦岡中継ポンプ場】</p>					
SDGs17の目標						
コスト		人件費				
事業費 (R1年度決算額)	105,404 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数		
人件費	千円	担当正規職員	千円	人		
総 計	105,404 千円	嘱託職員	千円	人		
		再任用 (フル)	千円	人		
		再任用 (ハーフ)	千円	人		
		任期付職員	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度	
	ストックマネジメント計画機器数 (対象機器 25点)	点	4	-	-	
	長寿命化計画機器数 (対象機器 55点)	点	-	0	33	
自己評価	事業の有効性 (効果の達成状況)	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	事業の効率性 (費用対効果)	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
自己評価の理由	老朽化対策の計画的な実施により予防保全を図り、ポンプ場の機能低下や停止を回避しており、事業の有効性及び効率性は高いと考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	今後の事業経営を考慮しながら、老朽化が進んでいる施設の部品交換や改築更新などを計画的に実施します。					
特記事項	コスト欄の事業費には、人件費が含まれています。					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01下水道築造費

事務事業番号 01010115

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
下水道処理場築造事業		305,929 千円	97,290 千円	197,805 千円	1,649 千円	9,185 千円
上下水道部 下水道計画課						
根拠法令	下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	下水道処理センターは、公共用水域の水質保全、生活環境の改善を図る下水道の重要な施設であり、その機能を安定的に持続させるため、老朽化が進む設備の部分交換や改築更新を計画的に進めます。					
事業の必要性	下水道は、市民生活に欠かせないライフラインであり、下水道機能を持続的に確保するため、下水道処理センターの老朽化対策を計画的に実施する必要があります。					
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p>  <p>【西町下水道処理センター】</p>  <p>老朽化対策について 下水道処理センターの機能を維持するため、ストックマネジメント計画に基づき、西町下水道処理センターの機械設備や、勇払下水道処理センターの計測設備など老朽化した機器の更新を実施しました。</p>  <p>【勇払下水道処理センター】</p>					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数		
事業費 (R1年度決算額)	305,929 千円	担当正規職員	千円	人		
人件費	千円	嘱託職員	千円	人		
		再任用(フル)	千円	人		
総計	305,929 千円	再任用(ハーフ)	千円	人		
		任期付職員	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	ストックマネジメント計画機器数(対象機器 124点)		点	34	-	-
	長寿命化計画機器数(対象機器 269点)		点	-	54	2
自己評価	事業の有効性(効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性(費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	老朽化対策の計画的な実施により予防保全を図り、下水道処理センターの機能低下や停止を回避しており、事業の有効性及び効率性は高いと考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	今後の事業経営を考慮しながら、老朽化が進んでいる施設の部品交換や改築更新などを計画的に実施します。					
特記事項	コスト欄の事業費には、人件費が含まれています。					



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 04固定資産取得費

事務事業番号 01010416

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
固定資産整備		840	千円	千円	千円	千円	840 千円
上下水道部 西町下水処理センター							
根拠法令	下水道法、水質汚濁防止法						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	下水処理場からの放流水が法令に定める水質基準に適合しているかどうかを調べるため、水質検査を実施する必要がありますが、検査に使用するための機器類が老朽化しているため更新します。						
事業の必要性	放流水の安全性を確保するための水質検査には、様々な機器が必要となりますが、老朽化が進み故障が頻発していることから、早急な更新が必要な状況です。						
事業の内容	SDGs17の目標   水質検査用機器類の更新 ウォーターバス 2台 金属製の容器に入れた水を加熱し、検体を緩やかに温める機器 オートクレーブ 1台 内部を高温・高圧にして、化学反応や滅菌処理をする機器 恒温器 1台 大腸菌群検査時に、温度を一定に保つための機器						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (R1年度決算額)	840	千円	担当正規職員	千円	人		
人件費	千円	}	嘱託職員	千円	人		
			再任用(フル)	千円	人		
総計	840	千円	再任用(パート)	千円	人		
			任期付職員	千円	人		
			臨時職員	千円	人		
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	R1年度	H30年度	H29年度
	機器・装置の購入			台	4	-	-
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	当事業は、下水処理場からの放流水の安全性を確保し、市民が安心して生活するために必要なものであり、事業の有効性・効率性も高いものであると評価しています。						
事業の課題、今後の方向性等	今後も老朽化した機器の更新を計画的に進め、放流水の安全性を確保してまいります。						
特記事項							